

令和元年度農業委員・農地利用最適化推進委員等研修会の概要

県内の農業委員及び農地利用最適化推進委員等を対象に、農地利用の最適化を効果的に推進するため、愛知県農業振興課及び(公財)愛知県農業振興基金(農地中間管理機構)と連携して、人・農地プランの実質化及び農地中間管理事業5年後見直しの内容の周知や現場活動手法の提示、農地利用最適化交付金の活用促進、先行事例の紹介等による研修を行いました。

1 開催期日、研修会場及び対象地域

| 回 | 月 日 | 研 修 会 場 | 対象地域 |
|---|----------|------------------------|-------------|
| 1 | 9月3日(火) | 名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館) | 尾張、海部、名古屋 |
| 2 | 9月10日(火) | パティオ池鯉鮒(知立市文化会館) | 知多、西三河、豊田加茂 |
| 3 | 9月13日(金) | 豊川市勤労福祉会館 | 新城設楽、東三河 |

2 参集者

農業委員及び農地利用最適化推進委員、各農業委員会事務局、愛知県農業水産局農政部農業振興課、各農林水産事務所農政課、(公財)愛知県農業振興基金等(約1,200名)

3 あいさつ

愛知県農業会議の川上会長(1回目)、西三河地域協議会の杉浦会長(2日目)、東三河地域協議会の内藤会長(3回目)から、機構法改正により農地利用最適化の業務が一層明確になった。本日の研修内容を現場活動に活かしてほしいとのあいさつがありました。

また、愛知県農業振興課(長谷川課長他)及び愛知県農業振興基金(鈴木理事長)から、現場をよく知る農業委員・推進委員の活動による人・農地プランの実質化や農地の集積・集約化の推進を期待するとのあいさつをいただきました。

4 内 容

(1) 講演

人・農地プランの実質化について愛知県農業振興課、機構法の改正について愛知県農業振興基金から、それぞれの内容と県内の状況、農業委員会との関わり等について説明をいただきました。また、愛知県農業会議からは、農業委員会としての今後の取組や農地利用最適化交付金の活用について説明しました。

| 題 名 | 講演者 | 主 な 内 容 |
|-----------------------------|---------------|---|
| 人・農地プランの実質化と推進状況について | 愛知県農業振興課 | プランの実質化の必要性 プラン実質化の取組の流れと作成手順 プラン実質化に係る県内市町村の動向 |
| 農地中間管理事業の5年後見直しと今後の取組みについて | (公財)愛知県農業振興基金 | 農地中間管理事業の実績と県内の取組事例 円滑化事業の統合など機構事業改正のポイント 農業委員会への意向把握や合意形成主導の期待 |
| 農地利用最適化の推進方策と農地利用最適化交付金について | (一社)愛知県農業会議 | 機構法改正による意向把握と話し合いへの参加の明確化 プラン実質化への対応の必要性と取組手法 農地利用最適化交付金の概要と活用の啓発 |

(2) 事例発表

県内の先行事例として、次の四つの事例について各回で2例ずつ発表いただききました。

なお、発表後の質疑応答では、集落営農組織に関する質問や事例紹介、報酬条例の改正方法など熱心に意見交換がされました。

① 都市近郊農地の将来に向けて（東郷町農業委員会の事例）

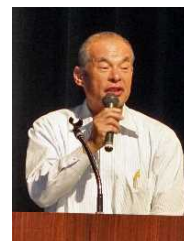
発表者：東郷町農業委員会 寺澤秀治会長

【要旨】

都市近郊の当地域では離農者が増加する一方で、担い手の高齢化と人材不足、受託農地の分散と狭小な圃場等の課題がある。

この解決に向けて、対象エリアの設定、集約化のメリット、農地中間管理事業の活用等を農業委員会で検討した。

今後、農地が集約されたあるべき姿（案）を作成し、協議会を立ち上げて推進していく。



寺澤会長

② 岡崎市島坂地区における農地利用最適化の現場活動

発表者：岡崎市農業委員会 中野永太郎推進委員

【要旨】

島坂地区は水田主体の平坦地域である。用水工事を機に島坂町営農推進委員会を立ち上げた。また島坂町環境保全の会を設置して草刈機等を購入し、用悪水管理や畦畔除草作業を実施している。

その後、基盤整備事業を活用したパイプライン化と畦畔除去による区画整理を実施するとともに、町内全域の水田を農地中間管理事業を活用し担い手に集約し、集落全員で農地を守る体制を構築した。



中野推進委員

③ 農地利用最適化交付金の活用方法（豊田市農業委員会の事例）

発表者：豊田市農業委員会 横条鈞会長

【要旨】

農地利用最適化交付金は全額国費であり、農業委員・推進委員による農地利用最適化の現場活動に資するものである。上乘せ報酬条例を整備し、交付金を積極的に活用すべきである。

豊田市農業委員会では、委員の活動実績と成果実績に対して具体的なルールを作って交付金を配分し、委員の現場活動を支援している。



横条会長

④ 豊橋市農業委員会における農地利用最適化の取組について

発表者：豊橋市農業委員会 杉浦洋子局長補佐

【要旨】

市内を6地区に分け、農業委員・推進委員による地域委員会を毎月1回開催し情報交換の場としている。

人・農地プランの推進のため、農地基本台帳申告書に同封して地域の将来に関するアンケートを行い、今後の地図化や話し合いに活かしていく。

市長あてに、人・農地プランの推進体制の確保と新規就農者の受入体制の構築に関する改善意見書を提出した。



杉浦局長補佐

○事例の詳細な内容は、愛知県農業会議農地利用最適化推進室までお問い合わせください。

<研修会の様子>



川上農業会議会長あいさつ



会場の様子



講演



事例発表（1）



事例発表（2）



質疑応答